

プラチナスJシリーズ 加湿皿水位調整に関して

(2015年以降の製品)

以下3手順に分けて記載します

現状の「加湿皿水位」確認

加湿皿水位調節器の調整手順

アジャスタフットの調整手順 (装置水平調整)

加湿皿水位確認手順

湿度運転すると、加湿皿に給水されますが、初期給水時(約40秒程度)のみ、ウイックパンからのオーバーフロー水が加湿皿に給水されます。この水は加湿運転初期のみの動作で、加湿皿水位調節器の高さ調整と関係なく加湿皿に水が給水されてしまいます。このオーバーフロー水による水位調整間違いを防ぐ為、次の手順で給水動作をしてください。

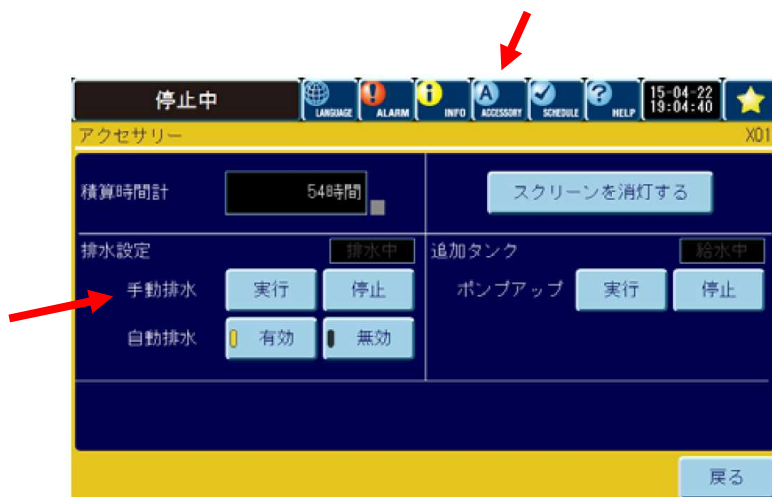
加湿運転を開始する。(20 30% 設定など)

約60秒待つて槽内右上にあるウイックパンのオーバーフロー水が加湿皿に降り終わった後、

「手動排水」を実施します。

手動排水のスイッチは、正面タッチパネル上部に“ACCESSORY ボタン”があります。

これを押しingいただくと現れます。



20秒待つて、手動排水「停止」を押してください。

(これにより、排水動作をキャンセルし給水動作を始めます。)

その後、給水動作がされますので約1分間お待ちください。

これで給水された水位が、加湿水位調節器で調整された水位です。

この水位で、(1)加湿ヒーターが露出していないこと、(2)手前の排水口に水が溢れていないことを確認してください。

次に、設定値を 20 90%等に設定して運転すると、3分程度で水が沸騰します。
その時、沸騰した水泡が手前の排水口に溢れない事を確認してください。

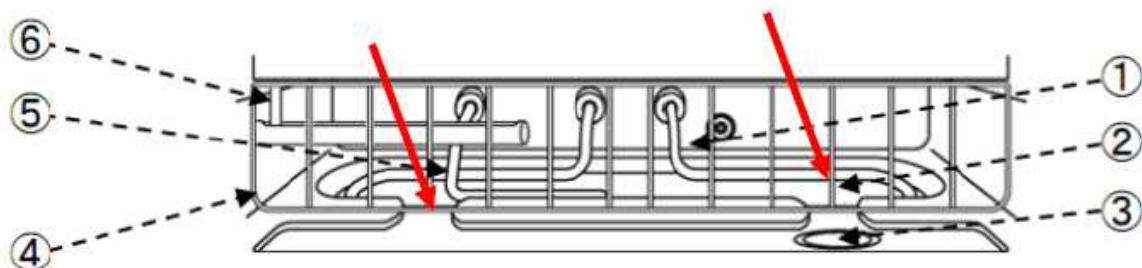


図 2.10 試験槽内下部(温湿度タイプのみ)

初期給水でウイックパンのオーバーフロー水が加湿皿に降って落ちるので、この水を除いた形での水位確認が必要。
初期給水動作完了後、一度手動排水させてから再度給水する必要があります。

加湿皿水位調整のポイント

- (1) 加湿ヒーター（上図①）が8割以上浸かるようにしてください。
- (2) 加湿皿の水が、2か所の溝から溢れないようにしてください。

加湿皿水位調節器の水位調整手順

装置背面のカバーを開けてください。（本体のブレーカーは落としておいてください）

すると、背面から見て左端のやや下あたりに加湿皿水位調節器があります。

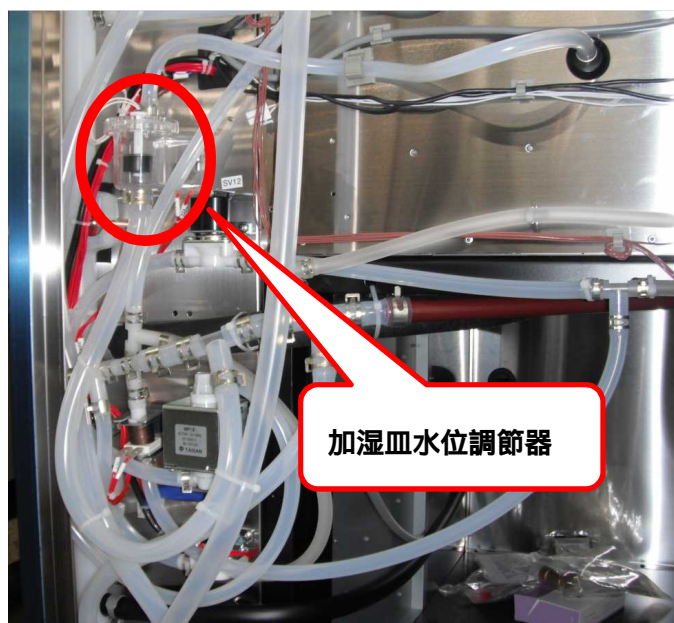
（握りこぶし大の透明の容器です）

この容器が固定されている壁のネジを緩めて、数mm上げると加湿皿の水位が高く調整されます。

逆に、数mm下げると加湿皿の水位が低く調整されます。

この水位変更は、一旦水を排水して次の給水動作時に有効となります。

水位調整をするときは、現在の高さ位置が解るように鉛筆等で印を入れて、元の位置に戻せるようにしてから調整実施願います。



（参考）

加湿皿水位調節器の清掃方法は、蓋を右に回すと蓋とフロートスイッチが一緒に外れます。

蓋を外したら、この容器の中と蓋についているフロートスイッチを綺麗な布で拭いて、ヌメリが無くスムーズにフロートが動くようにしてください。

容器の中がスライム状に滑っている場合は、タンクの清掃や水の入れ替えもお勧めします。

アジャスタフットの調整

装置の底面 4 隅には、それぞれキャスタ（移動するためのローラ）とアジャスタフット（固定するための足）が付いています。

②
装置正面にある
左右2箇所のアジャスタフット
を少し持ち上げる。

これにより、加湿皿手前の排水口
に溢れにくくなります。

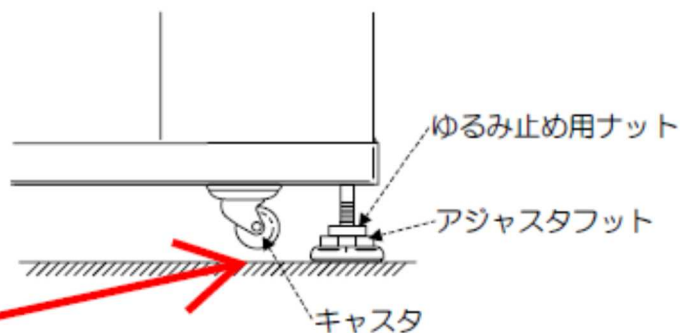


図 4.2 キャスタとアジャスタフット

アジャスタフットの高さ調節や、ゆるみ止め用ナットをしめたりゆるめたりするには、スパナ（対辺 17mm）を使用します。

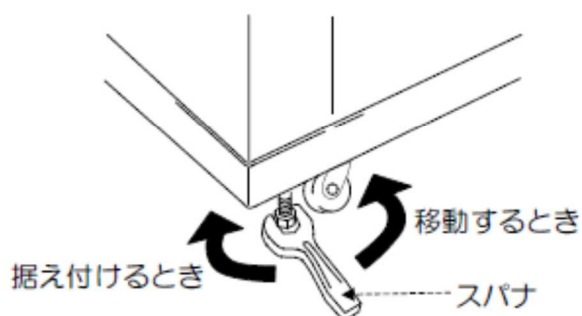


図 4.3 アジャスタフットのしめ方・ゆるめ方